

自衛隊の南スーダン PKO 派兵、沖縄・岩国の基地強化に反対する抗議文

野田 佳彦 内閣総理大臣 様
一川 保夫 防衛大臣 様

私たちは、日本が二度とアジア侵略・植民地支配をしないために、アジア各地の労働者民衆と連帯して、反戦平和と反基地、反貧困に取り組んできた団体です。アジア共同行動（AWC）といます。

1月11日から強行された自衛隊の南スーダンPKO派兵に断固反対し、抗議します。陸上自衛隊の施設大隊や中央即応部隊など約330名を今なお内戦状態にある南スーダンへ派兵することは、平和的生存権に基づく憲法9条を破壊する暴挙にほかなりません。ぜったいに許されません。南スーダンへ自衛隊が行くことは、停戦合意や紛争当事者の合意もなくPKO5原則を逸脱する違法なPKO派兵であることは明白です。沖縄、アジア各地、そして全国の反戦平和を求める人々の希求を踏みにじり、野田政権と民主党・前原政調会長はPKO武器使用緩和や米軍・自衛隊の軍事一体化、武器輸出三原則の緩和などを狙っています。これも憲法9条を破壊し、日本を戦争の出来る国へと大転換するともない野望の企みといわねばなりません。現憲法は、国際紛争の解決手段として、軍事力や戦争を放棄してきたはずです。

それゆえ、南スーダンへの自衛隊PKO派兵はできません。即刻、やめるべきです。ジブチ・ソマリア沖など、海外へのいっさいの自衛隊派兵を中断し、即刻、撤回しなくてはならない。

また、日本政府・防衛省は、沖縄の民意にこたえ、普天間基地を即時撤去し、辺野古新基地建設をすみやかに断念するべきです。女性への強姦や沖縄軍事侵略の発言をして、辺野古新基地建設の強行する田中聡・前沖縄防衛局長の沖縄差別軍事支配ぶりが暴露されました。そのうえ、後任の真鍋沖縄防衛局長たちがアセス評価書を闇夜にまぎれて沖縄県庁守衛室へ一方的に放り込んだ年末の不当きわまりない事態も起こりました。殺人的欠陥機オスプレイを普天間など沖縄・岩国に配備する許しがたい犯罪的計画も狙われています。くわえて与那国島など沖縄へ自衛隊配備増強が住民の頭越しに一方的に強行されようとしています。こうした沖縄にたいする差別軍事支配は絶対に認めることができません。沖縄に基地はいらない。沖縄の民意をしっかりと受け止め、米軍・自衛隊およびそれらの軍事基地をいっさい撤去しろ。

現在、岩国市民が艦載機移転・愛宕山米軍住宅に強く反対しています。これらの岩国市民の総意を裏切り、先日、二井・山口県知事、福田・岩国市長と一川防衛大臣の会談が行われ、愛宕山住宅跡地の売却合意が報じられました。2006年の岩国住民投票では、その有効投票の9割が艦載機移転・愛宕山米軍住宅に反対でした。岩国市民の民意を受け止め、防衛省は愛宕山住宅跡地の買収を中断し、米軍住宅計画をやめるべきです。艦載機の岩国移転は許されません。

以上から、次の諸点を抗議し、要求します。

- 一、自衛隊の南スーダンへのPKO派兵をやめろ。海外派兵された自衛隊は即刻撤回しろ！
- 一、普天間基地を即刻撤去しろ。辺野古新基地建設を断念しろ。高江ヘリパッドをやめろ。オスプレイを配備するな。与那国などへの自衛隊配備増強をするな。沖縄に基地はいらない。
- 一、岩国市民の民意をうけとめろ。岩国基地を強化するな。艦載機移転・愛宕山米軍住宅をやめろ！

2012年1月12日

アジア共同行動（AWC）日本連絡会議

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル2階 全国一般労働組合全国協議会気付

京都府宇治市広野町西裏 99-14 パール第一ビル3階 自立労働組合連合気付